

第93回香教組定期大会

組合があるからできることがたくさんある!
仲間を増やし、組合を大きく強くしよう!!



障害児学校支部
林佳代子さん

働き方・健康・妊娠・出産アンケート



女性部 村村智子さん
溝口千恵美さん

職場環境の改善を粘り強く働きかけていきたいと思います。これを元に県教委交渉をしてきた。県教委は他人事でした。

女性部が実施したアンケート分析が完成しました。支部や職場で活用して欲しいと思っています。職場の過酷な勤務実態が浮き彫りになっています。

職員がいていいはずです。今、柔らかい、ぬくもりのある職場が求められています。組合の存在は大切です。組合は万ーの時の保険のためです。

即戦力を求められ苦しくなっています。学校には色々なタイプの教職員がいていいはずです。今、柔らかい、ぬくもりのある職場が求められています。組合の存在は大切です。組合は万ーの時の保険のためです。

ぬくもりのある職場に

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087) 867-4797
FAX(087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合

定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

<http://kakyoso.com/>

ひまわり学校

ひまわり学校を支部でとりくみました。ひまわり学校の「教育実践力」を再確認し、参加しました。必ず次への世代へつなないでいます。



丸亀支部
大久保和彦さん

「組合に相談する」は大きな力

ひまわり学校を支部でとりくみました。ひまわり学校の「教育実践力」を再確認し、参加しました。必ず次への世代へつなないでいます。

思つたことを執行委員会で話すようになります。そのおかしさを調べ、「あるべき姿を」「香川教育」や「三豊教育」で知らせたところ効果がありました。

「香川教育や三豊教育を配ることが組合活動だ」という先輩の話を改めて実感しているところです。

みんなでわいわい職場訪問 丸亀支部

丸亀市の職場やとりくみの様子を新聞にして各職場に配布しています。年3回、車2~3台に分乗して職場を訪問しています。車の中の会話も楽しみの一つです。効果的な訪問日もわかつてきました。「香教組署名」は399筆集まりました。署名をお願いしながら、みんなの声を聞くことができます。

最近は、署名の協力を拒否する人もほんくなっています。教頭や校長が署名に協力してくれるようにもなっています。新米の校長の中には「勤務時間だから待ってくれ」と言う人もいますが、回数を重ねるとわかつてくれます。

ぜひ、若い人にも参加してもうしたいと思います。

休暇の取り方を知らせていただきたい



三豊支部
三木真澄さん



女性部
松山美穂さん

国際女性デー・母親大会

坂出は2017年度夏休みを1週間短縮すると新聞発表がありました。アンケート結果も知らされません。教員評価も、あいまいなまま進められています。さらなる運動を期待したいと思います。

女性部では、「国際女性デー」の実行委員としてとりくんだり「日本母親大会」に参加したりしています。「日本母親大会」は2017年は岩手県で開催されています。みんなで行きたいと思います。



高松支部
司松山裕さん

以前勤めていた香西小へ「香川教育」を配りに行くと喜ばれます。今まで読んでいた人は待ってくれています。夏休み短縮について組合独自でアンケートを取りました。また、管理職がいます。近年、教頭の多忙化は積極的に話され、香教組が子どもを中心とする教育や職場の労働環境改善に役立ってきたことなどが確認されました。



高松支部
司松山裕さん

夏休み「お盆の日直」については、2016年度から置かないことがあります。夏休み短縮について組合独自でアンケートを取りました。7割以上が「多忙感あり」という結果でした。5年内に中止するよう運動を進めていきます。

夏休み「お盆の日直」について、これまで読んでいた人は待ってくれています。夏休み短縮について組合独自でアンケートを取りました。また、管理職がいます。近年、教頭の多忙化は積極的に話され、香教組が子どもを中心とする教育や職場の労働環境改善に役立ってきたことなどが確認されました。

夏休み短縮中止・お盆の開院

広島や沖縄の和平学習は、参加者みんなで「（子どもたちにに対して、教師として）知らないことが罪なのではなく、知ろうとしないことが罪なのだ」という先輩の言葉を実感し、確認し合いました。「教育のつどい」にも青年をレポーターとして送り出すことができました。レポート作成は苦しいですが、発表を通して色々な角度からアドバイスやご意見をいただき、未来への推進力になると思いました。

2017年も、未来へ向かっていろいろな活動をしていきたいと思います。みなさんの参加を待っています。

もでき、大変良かつたです。戦争はイメージできなくて、もて接することを教えたいと想つて、沖縄の「ゆいまる」(平和な明るいイメージ)で行き、何も知らないな」と思いました。人に聞いて初めてわかることがあります。沖縄の人は私たち日本人に、同じ日本人なのに、も知らない自分がいたことに、切ない気持ちになりました。しっかりと見て、知つていきた

A circular portrait of a woman with short, dark, wavy hair. She is wearing a light-colored, textured sweater and is smiling while holding a black microphone close to her mouth. The background is plain and light.

青年部
高松支部
造田尚子さん



全教共濟 大抽選会！

2016年度全教共済にご加入くださった皆様は、「ご加入ありがとう大抽選会」の対象者です！全員当選します。景品は、郵送もしくは直接お届けします。

A circular portrait of a young man with short, light-colored hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. He is looking slightly to his left and speaking into a black microphone. The background is a plain, light-colored wall.

1 青年部
2 長年にまし
3 高松支部
4 二川陵介さん

青年部
高松支部
二川綾介さん



「立つた見方を学んできました。学力テストは、子ども時代に受けた自分の経験からも必要ないと考えています。秋田県の先生は、「子どもが、ヤモリとカエルの区別もつかない。実感のある学びができない」と言っています。

「組合は、弱い立場の講師のみなさんを大切にしたい」と言つてきました。講師のための勉強会を支部でとりこんでいます。

三豊支部
岩田富雄さん



沖縄「ゆいまる」に参加しました。知らないことがたくさんありました。実際見て、感じることがたくさんありました。役場の人に具体的に話を聞くことで、大変良かったです。子どもたちには、具体的な戦争はイメージできなくとも身近な人へ思いやりを持つことを教えていたいと思いました。

沖縄の「ゆいまる（平和学習）」に参加しました。平和な明るいイメージで行きました。とにかく、「自分は何も知らないな」と思いました。現地に行つて、現地の人々に聞いて初めてわかることを実感しました。同じ日本人なのに、沖縄の人は私たちのことと「本土の人」とも知らない自分がいたことに、切ない気持ちになりました。しっかりと見て、知つていきたくさんあります。



育牛部
寄宿舍指導員部
障害児学校支部
松浦 啓之



業種が違つても、話を聞いて、実践に生かしたいと思います。

全国青年教職員学習交流集会in富山にも参加しました。黒部山脈の景色が非日常的できれいでした。全国の仲間とつながりあうことで勉強になり視野を広げることがで

七
七

全国寄宿舎交流集会を香川で開催し、全国22の都道府県から、スタッフを含み300名を越える参加者で大成功しました。これは、近年では最大規模だそうです。寄宿舎指導員の「学びたい」という思いを、香教組が一つになつてとりくみ、十分に実現することができました。ここで、2名の仲間が増えたことも大きな喜びになります。

し、全国の仲間と話し、自分の視野が広がっていくことを実感しました。学びを広げることが教材研究につながることだとわかりました。

A portrait of Rieko Kubota, a young man with dark hair, wearing a white shirt and a dark jacket, looking slightly to the side.

全国青年教職員學習交流 集会（TANE）の実行委

2017年度 執行部役員

てきた▼一長時間過密労働で余暇を楽しんだり学んだりする余裕がない」という声を多く聞く一方で、何とか時間をつくり、安堵した▼ベテラン組合員は、職場の働き方の改善、支部や専門部の活動を通してつながろうとするとりくみについて語った。どの発言も、深みのある温かいものだった▼「人は弱いものであり、そもそも不完全。そこに、完璧を求めるのはやめよう。若い教員にベテランと同じ働きを求める。がんばらない働き方をしよう」と退職者はメツセージをくれた▼どの発言も香川の教育、教職員を思い、子どもも教職員も笑顔で過ごせる学校になることを願っていた▼教育現場は大変な状況だが、その発言には明るい未来を見たような気がした▼「今だからこそ組合の存在は大きい」そう確信した。

未來へ

小黑板

第93回定期大会を
2016年度を超え
る代議員の出席で、
無事終えることがで